

平成18年度病害虫発生予報第9号(12月予報)

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

オスベッキーマルカイガラムシ(果樹)

学名 : *Aonidiella orientalis*



雌成虫



生態と被害

枝、幹をはじめ葉面、果実など地上部すべてに寄生する。口吻を植物に差し込み吸汁するため、多発した場合、枯死枝を生じさせ、樹勢を衰えさせる。きわめて広食性で、パパイヤ、マンゴー、バナナ、バンジロウなどの果樹や、他の樹木類を加害する。年に数世代発生するが、発生は不規則で、年間を通じて幼虫から成熟成虫までがみられる。1993年名護市において、パパイヤの幹および果実で国内初確認された侵入種。

☆ 予報の見方 ☆

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くても「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。

平成18年12月1日

沖縄県病害虫防除技術センター